

## 労働力確保へ向けて支援始まる！

### ～新潟市園芸作物販売戦略会議における取り組みについて～

近年、農作業における労働力不足が顕在化しています。その対策として、このほど新潟市園芸作物販売戦略会議で、「デイワーク」というマッチングアプリを使った労働力確保に向けてのプロジェクトが動き出したのでご紹介します。



### ～デイワークとは？～

- 1日農業バイト「デイワーク」(鎌倉インダストリーズ(株)運営)は、生産者と求職者を1日単位で直接結びつけるスマートフォン向けのマッチングアプリです。
- 既に、北海道や長野県など16道県で運用されており、72JAが利用し、2021年では延べ4万人余のマッチング実績があります。
- 生産者(求人側)は、利用にあたり労災保険等の加入や労働基準法の遵守など雇用に係る準備を整える必要があります。

- 求人・求職のマッチングは、アプリを介し当事者間で直接おこないます。
- トラブルも当事者間の解決が基本で、必要に応じ、運営会社が仲裁にあたります。

### ～新潟市園芸作物販売戦略会議における取り組み～

- 当戦略会議（新潟市・市内4JAで構成）では、アプリ運営会社、新潟雇用労働相談センターと連携し、アプリを通じ労働力不足の解消と生産拡大をめざしています。（12月末に三者による連携協定を締結）
- 具体的には、生産者・求職者への周知や労働トラブルの未然防止・雇用等の相談対応など、生産者の側面支援をおこなうこととしており、まずはJA新潟みらいで先行して取り組むこととしています。
- JA全農にいがたでは、アプリ運営会社との調整、進行管理、他県の事例等情報提供など、今回の取り組みを支援してまいりました。

（担い手・営農支援部 担い手・営農支援課）